

① ヨコハマプラ5.3計画（プラゴミ2万トン削減計画）について

横浜市は、地球温暖化の主原因であるプラスチックゴミの焼却を大幅に削減する計画「ヨコハマプラ5.3計画」を発表。2023年度から2030年度までの7年間で、燃やすごみに含まれるプラスチックゴミの2万トン削減を目標としました。この2万トンを市民一人当りに当りに換算すると5.3キロになります。つまり、それを称してプラ5.3計画としたそうです。

削減の具体策として、現在、燃やすごみとしているストローや歯ブラシなどのプラスチックのみできた製品を、今後プラスチック資源として、プラスチック製容器包装と一緒に回収することになりました。

回収方法の変更は、今年度10月から泉区を含めた市内9区で先行して行われ、来年度の4月から全市で実施される予定です。詳しくは、詳細が確定次第、連絡致します。

② 西田地区のゴミ集積所が、優良集積所として表彰されました。

横浜市資源循環局では、分別ルールが守られ、清潔に維持管理されているゴミ集積場所に対し、優良集積所として感謝状を贈呈しています。

このたび、令和5年度の優良集積所として、岡津第三町内会の西田地区ゴミ集積所(住所:桂坂19-20)が選ばれました。町内会としては、令和3年度の川向の集積所に続いて2度目の表彰になります。この集積場を利用されている皆様、これからも宜しくお願いします。

ちなみに、令和5年度の泉区内での優良集積所は、第三町内会と新橋地区内の1ヶ所の2ヶ所です。



3月6日(水)現地にて、感謝状が渡されました。

③ 令和6年度の町内会活動に向けて

コロナ明けの令和5年度も、残すところ3週間程となり、来期に向けての町内会活動を考える時期になりました。来期の方針については4月の総会までにまとめますが、その前に、今年度の活動を簡単に振り返りたいと思います。

今年度はコロナ委縮から脱却を前提に、①安全で安心、きれいな町作り、②夏祭りなどの大型イベントの再開、③一般会員への活動参画の呼掛け、④役員の減少に対する対応の4つの方針を立てました。

①については、防犯部とだいさんひまわり隊が年間200日以上防犯パトロールの実施、防災部による自主防災訓練の実施、また岡津小学校防災拠点訓練への参加、環境衛生部によるゴミ集積場の維持管理、交通部の交通安全活動などが行われました。また、福利厚生部による「一人暮らしの高齢者の方へのクリスマスプレゼント」も高齢者の「安心」を培う活動であったと思います。

②については、3年の空白を経ての「夏祭り」を実施。会場設備の縮小、開催時間の短縮、来賓招待の中止など規模的には従来より縮小しましたが、それでも4年ぶりに「まほろばの広場」に夏祭りの活気を取り戻す事ができました。また、実施にあっては、班長や役員だけではなく、多くの場面で一般会員の皆さんの協力が得られた事も来期につながる事例になったと思います。

④については、横浜市との折衝により、行政広報紙の配布作業の内、広報部をはじめ数名の役員が行っていた「班長への配布作業」を止め、来年度より、横浜市による班長への直接配布に変更する事になりました。もちろん、役員の減少に対応する「組織、体制、活動内容の見直し」は来期以降も大きな課題として検討していきます。

以上のような令和5年度の活動でしたが、令和6年度においても、4つの方針は大きく変わる事はありません。「安全で安心、そしてきれいな町作り」が町内会活動の基本です。そしてその為には、この町に住む皆さんが、町内会活動への参加を通して交流し、関係性を深めて行く事が欠かせないものと思います。会員の皆様、来年度も、町内会活動への積極的な参加協力をお願い致します。（北島）